

環境調査結果のお知らせ

平成22年7月7日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年7月7日午前9時から、野見湾の調査をしましたので結果をお知らせします。

概況

水温は22～26℃で、前回調査時(6月22日)よりも1℃程度上昇していました。塩分は、降雨の影響で表層～2m層がやや低くなっていました。溶存酸素濃度は全体的に低下していましたが、養殖管理上問題となる低濃度(3mg/l)の測点はありませんでした。養殖漁場周辺の透明度は3～4m台で、前回と同程度でした。調査した範囲内で赤潮の着色域などはありませんでしたが、有害種のカレニア・ミキモトイ及びヘテロシグマ・アカシオが僅かに出現していました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は21.68～26.65℃で、表層水温は底層よりも4℃程度高くなっていました。塩分は26.59～34.61で、表層から底層にかけて鉛直勾配が顕著で、湾内には安定した密度成層が形成されていました。

溶存酸素(表3)

湾内の溶存酸素濃度は、4.57～8.58mg/lでした。前回調査と比較して全体的に酸素濃度が低下しており、特に、水深10m層では1.5mg/l低下していました。養殖管理上問題となる低濃度(3mg/l)の測点はありませんでした。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度はやや低下しており、3.2～4.6mでした。プランクトンの現存量は少なく、調査した範囲内で赤潮の着色域などはありませんでしたが、有害種のカレニア・ミキモトイが0～4cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが0～1cells/ml出現していました。今後も継続的な監視が必要です。

海水温の上昇と降雨による環境変化で、赤潮が発生しやすい時期です。海の状態や養殖魚の異常を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

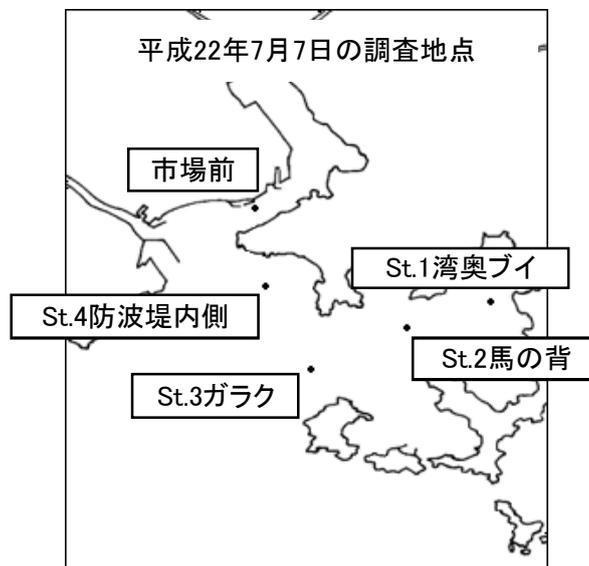


表1 水温(°C)

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	湾内平均 (St.1~3)	前回調査(H22.6.22)		市場前
	野見崎小長 崎中間点	馬の背	ガラク2番口	東側津波防 波堤内側		湾内平均	前回との差 今回-前回	
0m	26.65	26.18	26.14	25.52	26.32	24.75	1.57	25.04
2m	26.57	25.86	25.42	25.57	25.95	24.21	1.74	25.62
5m	24.42	24.29	24.26	24.20	24.32	23.48	0.84	24.38
10m	23.38	23.46	23.49	23.43	23.44	23.00	0.44	-
B-1m	22.62	21.68	23.01	22.55	22.44	22.75	▲ 0.31	23.56

表2 塩分

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	湾内平均 (St.1~3)	前回調査(H22.6.22)		市場前
	野見崎小長 崎中間点	馬の背	ガラク2番口	東側津波防 波堤内側		湾内平均	前回との差 今回-前回	
0m	26.59	27.03	27.56	21.95	27.06	31.63	▲ 4.57	15.19
2m	27.25	28.00	29.00	28.55	28.08	33.00	▲ 4.91	28.12
5m	31.97	32.19	32.25	32.14	32.14	33.71	▲ 1.58	31.00
10m	33.86	33.80	33.76	33.79	33.81	34.22	▲ 0.42	-
B-1m	34.35	34.61	34.32	34.54	34.43	34.52	▲ 0.09	33.46

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	湾内平均 (St.1~3)	前回調査(H22.6.22)		市場前
	野見崎小長 崎中間点	馬の背	ガラク2番口	東側津波防 波堤内側		湾内平均	前回との差 今回-前回	
0m	8.58	7.51	7.51	9.06	7.87	8.31	▲ 0.44	9.04
2m	8.59	6.81	6.36	7.90	7.25	8.03	▲ 0.78	8.04
5m	4.00	4.81	5.66	5.93	4.82	5.91	▲ 1.08	5.61
10m	4.57	4.69	5.32	5.17	4.86	6.40	▲ 1.54	-
B-1m	4.79	5.98	5.55	5.29	5.44	6.41	▲ 0.97	4.78

表4 水深・透明度(m)

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	市場前
水深	16.6	23.9	15.3	16.6	9.2
透明度	3.2	3.5	4.6	2.5	2.4
前回透明度	4.5	4.1	4.1	3.0	2.7

表5 プランクトン

		カレニア・ ミキモトイ	ヘテロシグマ・ アカシオ	プロトベリディニウム 属	ジャイロディニウム・ ドミナンス	メソディニウム・ ルブラム
St.1 野見崎小長 崎中間点	0m	0	0	3	0	2
	2m	1	0	4	0	0
	5m	1	0	2	0	2
St.2 馬の背	0m	1	0	6	5	1
	2m	4	0	1	2	1
	5m	2	0	0	3	0
St.3 ガラク2番口	0m	2	0	1	1	0
	2m	1	1	1	1	0
	5m	0	0	2	1	0
St.4 東側津波防 波堤内側	0m	0	0	2	1	0
	2m	0	0	2	2	0
	5m	0	0	1	1	0
市場前	0m	0	3	3	2	0
	2m	2	0	2	1	0
	5m	0	0	3	2	0